

山行報告書

報告書作成

2007年3月1日

山名 [山域]	野伏ヶ岳・小白山	目的と方法	純白の白山展望とロープワーク訓練
登山期間	2007/02/24 ~ 25	山行形態	テント泊(ベースキャンプ形式)
参加人数	4人		

行動記録

02/23 岩津市民センターP(21:15) = 豊田東IC = 東海環状 = 白鳥IC (23:00) = 上在所P TS (24:00)
 02/24 TS1(6:40) - 和田山牧場BC(9:00・10:30) - 野伏ヶ岳 (13:00,13:45) - 和田山牧場BC (15:35)
 02/25 和田山牧場BC(7:04) - 北峰尾根取り付き (8:58) - 北峰 (10:55) - 小白山 (11:33 12:05)
 - 北峰 (12:20,12:35) - 北峰尾根取り付き(12:55・13:19) - 和田山牧場BC (14:22・15:04) -
 上在所P (16:25・16:46) = 満天の湯 = 郡上八幡IC = 豊田東IC = 岩津市民センターP (22:25)

概念図



日誌

2/23(金) 晴れ 上在所のPにてテント泊。満天の星と川の瀬音 かなりの冷え込みに少々睡眠不足。
 2/24(土) 晴れ 準備を整え6:40に出発。橋を渡って直ぐに雪道となり林道を和田山牧場まで歩く。途中ショートカットしようにも雪が緩く 踏み抜く恐れがあるため体力の温存に努める。和田牧場の石碑を確認。例年より雪が少ない。池の付近にテント設営後 ハーネスを装着し二人一組で 大阪コンテの設定で 野伏ヶ岳へ登り始める。晴天で風もなく汗をかきながらダイレクト尾根を歩く。八合目付近までは 春の陽気でも頂上付近は霧氷が輝き 山スキーには最適とN氏はくり返す、事実 坪足組より山スキー組ばかりでした。下山途中でコンテの練習を行うがフカフカの雪に実践にはいまひとつ。緩んだ雪に足をとられながら BCへ。
 2/25(日) 晴れ 最低気温 - 12 準備に手間取り予定より1時間遅れで昨日と同様にアンザイレンにて小白山を目指す。最初の予定の 橋立峠へ谷筋を詰めるコースを変更(上部に切れ目あり)し北峰への尾根に変更。急登が続くが雪が締まり歩きやすい。北峰から南峰の稜線は痩せていて 南東方面に雪庇が張り出し一部崩壊。北西方面は急斜面。ここでコースを検討。先行した山スキーの方が南東斜面をトラバースして行く。南東斜面には亀裂が数箇所はいつているが 気温が低く直ぐには雪崩ないと判断し10m間隔をとり同じコースを行く。無事 小白山に着く。360度の展望に感激！下山は北峰にてザイル解除し軽快に下る。テント回収し途中ショートカットしPへ。満天の湯で二日間の疲れをとり 帰途へ着く。

感想

今回のメインは小白山とザイルを使っての安全登山。アンザイレンは急斜面や細い稜線での安全確保にあるが 一歩間違えば二人共滑落の危険があるということで、確実な技術習得が必要条件となるということを実感しました。もうひとつは コースの取り方。地形と雪の状態。気温などの気象条件などを考えて慎重に選択することが危険の回避につながるということを目の前にして納得しました。

メモ 走行距離(片道) 158km 満天の湯 ¥800 豊田東IC ~ 白鳥IC ¥3400